

人権だより

(令和2年度 6月号)

川之石高校人権委員会 担当 3年次3組

気温が上昇し、梅雨で湿気の多い日が続いています。そんな中、校庭に咲くアジサイ、校内の窓辺に飾った鉢植えのミニひまわり（農業の授業作品）を見ると、晴れやかな気持ちになりませんか!?



さて、休業日があけてようやく日常を取り戻した感じがありますが、学期末の生活をしっかりと送りましょう。



【今月の見どころ】

- 1 新型コロナウイルス感染症が私たちをおびやかすものとは!?
- 2 川高も賛同! 「シトラスリボンプロジェクト」

1 新型コロナウイルス感染症が私たちをおびやかすものとは!?

今月は、新型コロナウイルス感染症がその病気にプラスして恐いものについて、「日本赤十字社」の資料からまとめてみました。

(http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html)

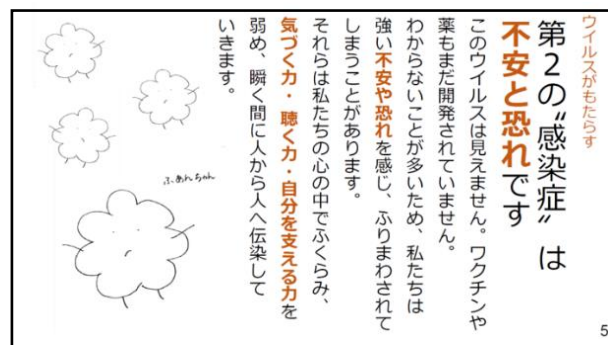
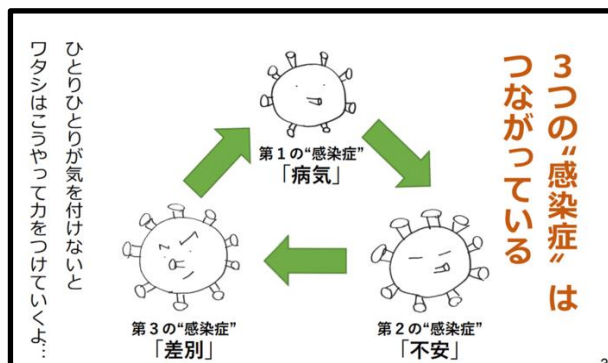
(1) 新型コロナウイルスが怖いのは、『3つの“感染症”』という顔があることです。知らず知らずのうちに私たちも影響を受けていることをみなさんにご存知ですか?

日本赤十字社によると、「3つの“感染症”」とは下の太枠内の図のように、「第1：病気」、「第2：不安」、「第3：差別」を指しています。

また、その他の3つの図は、3つの感染症についてわかりやすく説明したものです。この3つが「負のスパイラル」としてつながることで、さらなる感染の拡大につながっている、つまり、新型コロナウイルスは病気そのものだけでなく、感染への不安や差別など、心理面への影響をもたらすことを言っています。

ここに掲載したのは日本赤十字社が作成した資料の一部ですが、人権委員会の掲示板に、すべての資料を掲示しておきますので、よく見て、理解を深めてください。

(2020年5月19日掲載許可済)



(2) 見てみよう！日本赤十字社発 絵本アニメーション「ウイルスの次にやってくるもの」
(2020年4月21日より公開中)

3分ほどの動画です。

始まりは、ウイルスから身を守るためには、「きちんと手を洗うだけで、感染する確率はぐんと下がる」はずなのに、「心の中にひそんでいて、流れていかないものがある。」というところからです。

さて、それは何でしょうか!?

右のように、それは「ウイルスよりも恐ろしいもの」かも…と。



▲「ウイルスの次にやってくるもの」の一画面

可能な人はぜひ動画を見てくださいな。正しい行動がとれる人になるヒントがあるはずです。

【参照】 <https://www.youtube.com/user/JapaneseRedCrossPR>

2 川高も賛同！「シトラスリボンプロジェクト」



このプロジェクトは、松山市の団体が発信したことがきっかけで、今や全国の多くの人々が賛同しています。新型コロナウイルス感染症による差別や偏見が広がるのを防ぎ、感謝の気持ちを忘れず、誰もが暮らしやすいまちにしていこうという運動です。先日、川之石公民館の菊池さんから紹介していただき、人権委員会、生徒会、家庭クラブで、それぞれの個性を出しながら、協



力体制で取り組もうということになりました。それでは、各代表者3人の抱負をどうぞ！

【生徒会長：横尾由梨香】新型コロナウイルス感染者の方やその家族、医療従事者、他にもたくさんの方々が感染を恐れ、先の見えない状況を不安に思いながらも、普段の生活を取り戻すために日々、戦っていらっしゃいます。私たちは相手の立場に立ち、考え、行動できる人になるためにも、一人一人の小さな力を大きな力にしていきたいと思います！

【家庭クラブ会長：中田 涼介】一人でも多くの方にこのプロジェクトを知っていただき、自分の日々の言動や思っていたことを振り返り、みんなで協力して取り組みたいです。そして、全国的にもっとこの活動が広がり、他の問題についても考えたり、解決したりできる力になるといいなと思います。

【人権委員長：井上 桃佳】いろいろな報道を見たり聞いたりするたびに、新型コロナウイルス感染症で人を差別するのはおかしいと思ってきました。また、そんなことが起こることを悲しいと感じていました。この取り組みをすることで、新型コロナウイルス感染症による差別や偏見がなくなっていけばいいなと思います。

【今月の係（3の3）より】

◎ この取り組みを通して、全校で豊かな人権感覚を身につけ、人権意識を高め、地域にも良い形で広がるといいなと思います。来月は人権・同和教育ホームルーム活動があるので、リーダーとしても頑張りたいです。